東海道
五十三次

千代の風詠

弘化丁未年十月十八日本谷中天王寺
自然堂鳳朗居士三周忌俳諧発句

曉や雲　乗光　　天王寺　如息子
枯[illegible]　　春翠子

[illegible]
二[illegible]
月や[illegible]
[illegible]
[illegible]

琴　舍
後　彦
嘗　所
月布曲
琴　侍
赤　成
西　和
天　馬
笑　森
和歌女
鶯　決
若　海
雪　竹
寄　女
秋　楽女
徒　九

閑　山
羽　鯉
丁　久
船　笠
重　も
蕉　梅
念　く
史　涼
大　祖
幼　女
舎　用

西　馬
押　巴女
宝　三

竹長
泉分
美里
文車女
不束
里遊
桃子
茶束
榴姐
鬼卯
石涼
心
竹
千
秋里
草良

塩海
五石
宣頂
丹生
白岭
雷村
その女
巽
十庫

永久

京

梅宮　杜警　有節　杜蘂　九超　悟雲　庵公　盛年　丈聚　公路　松峰　素屋　鈴左　佳峰

イ大　アハチ　アハ　サヌキ

佛　藥　霧　池尾　泉　宝　尺　丈　松　絲　米　木　右　有　栗　屋　楼　茅

[illegible]

イヨ
蒙 吾
映 門
菓面女
葵 笠
栄 人
トサ
崑 夕
帰 牛
習 牛
葵 梨
飯 佛
古 鳳
市 龍
化 昇
大 龍
蚕 通
菱 迹

り秋やうみある山べ蒼るやう
さきそめやふりくるる春の色
うれはまをえうくゝ花やさきみる
鄙ふるまかりて鶯小綱
ありやあく帝王たる物出屋
さくらゝ光はしらの軒の若
遠て雲ゝ世ゝ乃月
春月やうゝ路入をとゝ
蹄くゝ山も陽るのとゝ行り屋の義
ちりさきみ葉一葉ゝ相
所市ゝ山の義の雑るゝ乃歩り
夫方の乃ゝ亀ゝ乃ゝ
海てみゝ市亀ゝ掃除
八九我又佳ゝ寺ゝ乃
さゝ中 よ葉みを庶まるさゝ

フニコ
チクコ
ヒセン
ナカサキ
ヒコ
樊 外
元 史
絡 方
山 么
文 者
馬 軽
芦 川
圭 く
偽 く
眉 山
寸 長
衣 素
楠 頃
柳 嶺
薩 壹
千 于

稲波　草月　猪子　素文　芭蕉　栖舎　一叟　卜葉　鬼白　謹巫　山酌　青年　仙翅　続（サツマ）　椿　翁　馬兄

双鳥（ヒムカ）　柳壷（カヽ）　風兮（ノト）　漠海　呂風　怒兮（エツチユ）　春宮　杉窩　姫山　北洋　茶山　吏川　似逸　素咽　乙良　宏泉

好静（テハ清風）
二兼（ヲリ）
義丈
代女
旨何
二栗何
一人
止何
佛孫（下モ）
道焼（上モ）
竹烟
言斗
名イ
一
如
牛

琴堂
平山
谷郎
雲
卧
亘朗
一人
吾羊
水
宮
丞
栄
雲
下ナ
ニナ
可
厚
恵
温
白
秋
湘
玉
古

一　芦花（アノミ）　杜雅　蓬巡（ミカハ）　渡水（スルガ）　槐仙（サカミ）

扑凡　書相（イカ　イセ）　蘅琴　萱　宦　言竹山　墨　蓬　茶堂

吳南　丁　親　菫　蘭　榎　立竹（ムサシ）　南　千

館　堂　岱　砂　堂　宇　山　坡　高　瑞

江戸　龍風子

四山子

はつの秋〜中皇子〜秋の風
一さと〜〜〜

紀常　桔青　春不　沢渚　水三　竹西　桜三　一一　宝左
梅一　化一　井邑　渓星　山一　年和　巻狐　秋恭

武雨　梅央女　荷少　西谷　譜晩　一雑　巴千　正理　筌梅　葛子　孝友

山城の国より送りける清水の雪
初霜のうしとたつ音今朝聞くこゝ
新しくや蔦の紅葉の色見えん
雪の日和
雪の中に光さかりし
川添の一筋の雪の色
散ぬるや雪にうもれゆる石社月
須磨ヶ浦に蓼ふる雪の
ものすごくこの邪
極人て雪

柳枝
千富
秀直
龍丸
壹元
竹堂
隙六
茶静

ゆきやの人の松の雪乃雪

永久

自然居士

三國志出稿

貳

[illegible]

[illegible]

文音所

江戸日本橋通十軒町
惺菴西馬

同飯倉片町
昌平庵永久

通称
彩屋久四郎

世の中は
諸行無常
時にて
人日替りて

四人は
魂のそれる
ものなり

南無帝釈
第三千
仏さま
者は親しい仏さま
人もか　そっとほうえめば
もれは　つたわる

長生之郷
廿　正寿会